

平成23年度第5回幸区区民会議

日 時 平成23年10月19日（水）午後6時30分

場 所 幸区役所5階第1会議室

午後6時30分 開 会

開会

司会 定刻となりましたので、第3期幸区区民会議第5回会議を開催させていただきます。

私は幸区役所企画課長の鈴木でございます。本日の会議の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

では、開会に当たりまして区長からごあいさつを申し上げます。

1 区長あいさつ

区長 どうも皆様、こんばんは。森下でございます。委員並びに参加の皆様、秋のイベントシーズン真っ盛りというところで、大変お忙しい中、御出席をいただきましてありがとうございます。

今期の区民会議におきましては、皆様方に調査、実践について積極的に行っていたいておりますところですが、環境部会におきましては、先日の区民祭などでミックスペーパー、プラスチック製容器包装の分別ゲームを企画されたり、区民会議のPRも含めて、本当に多くの方々と接していただいているのを見ておりまして、やっぱりすごいなと思っておりましたところ、きょうからいよいよ小学校で例の出前講座が始まりました。私も今朝、委員の方々と一緒に下平間小学校に行ってまいりましたが、本当にいい企画だなと思っております。子どもさんを通して大人に、家庭にそれが広がっていくのを実感いたしました。

また、安心・思いやり部会におきましても、東日本大震災を受けてその重要性がクローズアップされております地域コミュニティーについて、高齢者を対象といたしましたプレシンポジウムの企画につきまして御議論をいただいていると伺っております。このような皆様の努力が大きな成果につながっていくのだと確信いたしました。私も、事務局といたしましても、精いっぱいお手伝いをさせていただきます。皆様との協働により、よりよい幸区をつくってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございました。

それでは、会議に先立ちまして何点か確認事項を説明させていただきます。

本日の区民会議は、会議の公開の対象となっております。したがって、傍聴及び報道関係者の取材につきまして許可をしております。

また、市政だよりなどの広報資料といたしまして会議録の作成及び撮影をさせていただきますので、御了承をお願いいたします。

引き続きまして、お手元に本日配付いたしております資料の確認をさせていただきたいと思っております。

まず、本日の会議次第でございます。次に別紙1が座席表でございます。事務局の出席職員は、区長、副区長のほか、審議テーマに関連する部署の課長が出席しております。別紙2が委員及び参与名簿でございます。続きまして資料でございますが、資料1が報告用資料、環境部会のもの、資料2が報告用資料、安心・思いやり部会のものでございます。そのほかとしまして、平成23年度区民会議交流会の開催について（案）。新総合計画かわさき再生フロンティアプラン第2期実行計画の実施結果についての意見募集の資料一式、こちらにつきましては委員の皆様のみ配らせていただいております。

以上でございますが、資料が不足しているようなことがありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、改めまして、ただいまから第5回幸区区民会議を開催させていただきたいと思っております。なお、本日は西野委員長が急遽欠席となっておりますので、神谷（厚）副委員長にこれより議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 2 審議事項

### (1) 「地域におけるエコ・環境の推進」の具体的検討について

神谷（厚）副委員長 それでは改めまして、皆さん、こんばんは。先ほど言われましたように、西野委員長がきょうはお休みでございます。もう5回目になりましたので、皆様もいろいろな意見をこの場で言うのも随分なれておりましたから、私のほうから何やらかにやらというよりも、皆さんで活発な意見をお願いしたいと思います。不慣れでございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議は20時ごろをめぐりに終了させていただくということで行きたいと思っております。本日は、専門部会の経過報告について、まず環境部会から説明をいただいた後、意見交換、その後、安心・思いやり部会から説明をいただき意見交換を行うといったように進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、初めに環境部会の審議経過について、押山委員、よろしくお願いいたします。

〔プロジェクター使用〕

押山委員 環境部会の委員をしております押山です。よろしくお願いいたします。

それでは、あちらの画面に基づいてやっていきます。座りながらやらせていただき

ます。

それでは、第5回全体会議、環境部会の経過報告をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

まず初めに、前回の全体会議で発表したこれまでの検討結果について、簡単に総括させていただきます。

前回の全体会議では、新規のテーマの2つの取り組みである小中学生を対象としたゴミ分別出前講座の実施、ゴミ分別のマナーアップキャンペーンなどイベントの実施の検討について発表させていただきました。1つ目の小中学生を対象としたゴミ分別の出前講座の実施とは、幸区内の全小中学校を対象に、区民会議が川崎市環境局とタイアップし、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装のごみ分別に特化した環境出前講座を実施するものであります。2つ目のゴミ分別のマナーアップキャンペーンなどのイベントの実施とは、幸区民祭など区内で開催される大規模なイベントとタイアップし、イベントの中でごみ分別の意識啓発につながるようなPR活動を行うものです。

以上が前回の全体会議の発表内容の総括であります。

今回の全体会議では、前回の全体会議以降に実施した計2回の専門部会の検討経過を発表させていただきます。2回の専門部会は、御覧のとおり、8月8日と9月12日に実施されております。

大きな項目の1つ目として、小中学生を対象とした出前講座の具体的な検討経過について御説明させていただきます。部会では、特に、学校側との調整、出前講座の企画立案の2点について検討実施を進めました。

学校側との調整は、幸区内の全小中学校に対し、学校別に交渉担当を決め、交渉を進めました。交渉担当は、各委員の出身校である、または学校関係者と知り合いであるなど、つながりのあるところを中心に決め、事務局とともに交渉を進めました。

幸区内13の小学校のうち、11の小学校とは調整が完了し、本日実施した下平間小学校から順次出前講座を実施してまいります。また、残りの小中学校についても並行して調整を進めていきます。

次に、大きな項目の2つ目として出前講座の企画立案について御説明させていただきます。

前回の全体会でも発表しましたが、実施の出前講座では、この表にあるようなプログラムを作成しています。専門部会では、主にこのプログラムのメインコンテンツ、主要な中身である分別ゲームの実施について検討を行いました。分別ゲームの大まかなコンセプトについてはこれまでも検討を行ってきました。

今回特に検討を行ったメインのコンテンツである分別ゲームについては、児童や生徒に楽しみながら分別の実施や環境への意識を高めてもらうことが目的であることか

ら、まずは自分たちが小中学生の視点に立ってゲームをつくっていくことが大事であると考えました。そのため、専門部会ではおおむねの基本的なルールを作成した上で、プレゲームを実施し、委員が4人1組で2班に分かれ、実際にゲームをしながら改善点などを検討していきました。

所定の制限時間の中でプレゲームを実施し、答え合わせをしながら、当日実施するルール等の詳細、出題するごみ等の内容についての改良、追加点などを中心に検討を行い、内容を固めていきました。ゲームのルールや流れについては、この表に示すような内容に確定しました。ゲームの開始後、5分の制限時間の中で班ごとに回答を相談し、分別方法が書かれたかごに分類、制限時間終了後、講師が1つ1つのごみを取り上げながら解説を行う形式になります。

また、出題するごみについては、児童生徒のみが参加する場合と保護者も参加する場合で変え、分別のルールが細か過ぎたり、知識のある大人でも解釈が大きく分かれるようなものについては出題せず、必要に応じて解説の中で触れることなどの対応を行い、お菓子の箱など子どもの関心が高いものをふやすことを中心に改良を加えました。

御覧いただくこれらが、出題するごみの一例であります。

次に、ゴミ分別意識啓発イベントの実施の具体的な検討経過について御説明させていただきます。

区民への意識啓発のため幸区のメインイベントである幸区民祭及びリレーカーニバルにおいて、ブースでのゴミ分別ゲームの実施と、のぼり、ジャンバーによるPRの2つの取り組みを行いました。リレーカーニバルは10月2日に、幸区民祭は10月15から16日に開催しています。

リレーカーニバルでは、これらの写真にありますように、区民会議のブースを設置し、参加者を対象に簡単なゴミ分別ゲームを実施しました。

こちらは10月2日に実施したリレーカーニバルの様子になります。参加していただいた方には記念品としてエコ缶キャップを配布しました。

次に、こちらのほうは10月15、16日に実施した幸区民祭の様子になります。区民祭での実施に当たっては、先行実施したリレーカーニバルで把握された課題を踏まえてPRや掲示の方法など、工夫を施しました。

ゴミ分別意識啓発イベントのもう1つの取り組みであるのぼり、ジャンバーによるPRについて説明させていただきます。リレーカーニバル及び幸区民祭の会場では、これらの写真にあるように、区民会議委員がおそろいのジャンバーを着用し、のぼりを立てて参加者へ区民会議のPRを行いました。こちらのジャンバーについては、環境部会の中でデザイン等を検討し、作成したものであります。

最後に、大きな項目の3つ目として、幸区民アンケートへの要望について説明させ

ていただきます。

幸区では、区民のニーズなどを把握するため、幸区民アンケートを実施しています。アンケートは複数の分野から構成されており、このうち環境部会に関連する設問に「節電とゴミの分別について」、「自転車マナーについて」があります。環境部会では、専門部会の中で区が作成したアンケート項目の案に対し、より効果的な内容となるように区民の視点から要望を提示し、検討を行いました。

検討の結果を受け、アンケート項目がこちらに示すような内容に確定しました。

環境部会の発表は以上であります。皆様、御清聴ありがとうございました。

神谷（厚）副委員長 押山委員、ありがとうございました。

今までの環境部会の経過につきまして、何か御質問とかございましたら、いかがでしょうか。

林委員 林と申します。すごく具体的な内容で、楽しそうだなと思ってお話を伺っていました。個人的なことになるかもしれないんですけども、南加瀬小学校にうちの子どもが行ってまして、たしかこの日程の日が土曜参観で、午後はPTAバザーの日になっていると思うんですけども、私も参加の予定ですので、ぜひ。ただ、午後のバザーのほうはお手伝いがあるので、午前中の授業参観のほうでされるんですか。まあ、その辺はまた詳しく。

神谷（厚）副委員長 その辺のところもまた調整をしまして。

林委員 はい、そうですね。行きますので、御協力させていただけたらと思います。よろしくをお願いします。

神谷（厚）副委員長 ほかに何かございますか。

それでは、リレーカーニバルと区民祭、それから今日の出前講座、環境部会のほうでいろいろ参加して下さっている委員の方たちがいますので、どんなふうだったかというようなところもぜひ聞きたいのですけれども、いかがでしょうか。

北野委員 環境部会の北野です。リレーカーニバルについては、初めての出発点なんですけれども、このときは入り口付近にテントを設置して、初めはすうっと、メインは運動会が目的ですから、呼び込みでやったんですけども、区民祭の場合は呼び込みせずに、どんどんお客さん、いわゆる男性の方も女性の方も、また子どもさんも、積極的に飛び込んできたんです。だから、ごみに関してすごく興味があるなど。何かもらえるのかなという意識じゃなしに、何かやってるなということ。幸区もすごいなと感心しました。

ただ、ブースが初日は1つしかつくっていなかったの、数は少なかったんですけども、それを踏まえて2日目にはブースを2つつくって、パラレルにできるようにしたんですけども、すごく好評だったなど。こういうのをもっとふやしていかなければいけないなと思いました。

本日初めて学校でやったんですけれども、いわゆる1時限が学校は実質40分なんです。いろいろな内容を企画して、詰めて詰めてやったんですけれども、一番最初の2時限目はちょっと時間オーバーというか。それだけ皆さん関心があるということなんですけれども。

それで、印象は、子どもさんは8割方、もう完璧でした。大人のほうがちょっとまずいかな。区民祭で実際対応したときも、大人が間違っって子どものほうがよく勉強しているなど、こういう印象です。だから、これから幸区は楽しいなと思います。この学校のことを通じてもっと横展開を広げていけば、回収率がよくなり、ごみの分別がちゃんとされて、トータル的に環境に寄与できるのではないかと自信を得ました。

以上です。

神谷（厚）副委員長 ありがとうございます。

齋藤委員、どうですか。

齋藤委員 齋藤です。時間は短かったのですが、リレーカーニバルと1日目の区民祭のほうに参加してきました。

先ほど北野委員からもあったのですが、子どもは結構よくわかっておりました。大人のほうが迷ったということが非常に印象的でした。特に集団資源回収している新聞ですとか段ボール、それとミックスペーパーの区別がなかなかつかないという大人の方がすごく目立ちました。

あと、こちらの資料にもあるんですが、ごみの種類です。上から2段目のカップヌードルの——商品名を出していいかわかりませんが——カップがあります。これも非常に分別しづらいごみというか、商品というか。説明しますと、カップのほうは紙でできているんです。外側のフィルムがプラスチックのごみということになっています。メーカーによっては、このカップもプラスチックになっているということがあります。その辺はここに表示されているマークをよく見ながら出していかないと困るかなというところでした。

全体的な印象としては、皆さん興味を持って積極的に分別をしていただいて、本当によかったなど。子どもたちも一生懸命やってもらったので、小さい世代から大人を、言い方は悪いんですが、突き上げるような形でもって、お母さん、だめだよ、このごみはこっちだよ、お父さん、こっちだよという形でもって、子どもから今度は大人に言っていただいて、それがまた、大人から子どもに言ってもらえれば、幸区のごみ対策が非常によくできるのではないのかなと思いました。

神谷（厚）副委員長 ありがとうございます。

ほかにどうですか。石野さんはいかがでしょう。

石野委員 僕は区民祭には出られなかったんですが、リレーカーニバルのときに担当させ

てもらって気がついたのは、子どもは非常に興味があるということで積極的にやるんですが、後ろでお母さんが何となく見ているというのがちょっと気になって、本来はお母さんがちゃんとしなければいけないんじゃないかなと、そんな気がしたんだけど、子どもがそうして積極的に、遊びながらでもやってくれているということが非常にいいことだなと思っております。ですから、学校へ行って、どんどん宣伝していけば、子どもたちから家庭の中に浸透していくのではないかなと、そんな気がいたしました。以上です。

神谷（厚）副委員長　そうですね。

よろしいですか。

押山委員　では、一言いいですか。

神谷（厚）副委員長　お願いします。

押山委員　私は、リレーカーニバルのほうに参加させていただきましたけれども、いろいろうちの家内なんか言わせると、要するに、分別はいいけれども、分別に当たってはきれいにしてから出すということ。やっぱりそのことを改めて皆さんにお願いするという視点が大切じゃないかなと思うんです。ただ分別するのではなくて、分別するにはきれいにしておいていただくということで、皆さんには、きれいにしてくださいよという点をお願いすることも大切じゃないかなと。分別のことばかりやりますけれども、その辺は皆さんに御協力をお願いすることもやっぱり強調しなければいけないんじゃないかと思いました。

神谷（厚）副委員長　そうですね。今の出すマナーというようなことにもつながるのだと思うんですけれども、きょうの出前講座では、私も参加させていただいたんですけれども、そこまで細かく話をできる時間がちょっと少なかったかなと思います。きょうは1回目ですので、これからほかの小学校に次々順次やっていきますので、そういうところもちょっと押さえてもらえれば、皆さんに言っていられるんじゃないかなと思います。本当にきれいにするということが自体も必要だということは、はっきり言ったほうがいいですよ。

では、今までのことで何か御質問とか御意見がありましたら、どうですか。

土倉委員　子どもたちが、やっぱり聞いていて楽しそうにやっていますよね。大人が楽しそうにやるかどうかはわかりませんが、昔、うちのほうの町会でやったときも、結構みんな乗ってやっていたので、非常にいい企画だと思います。

実は、今週の土曜日、小倉いこいの家まつりがあるんですが、そこに出前講座を呼びまして、やはりごみの分別をやってもらうように企画しております。昨年も1度やりまして結構成功したので、今年もお願いしまして、やります。まちでそうやって意識をだんだん高めて、学校でやったり、そういうイベントを利用してやるということは非常にいいことだと思います。区民祭とかリレーカーニバルとか、そういうイベン

トで人が集まるところでやっていれば、だんだん意識が高まると思いますので、大変すばらしい企画だったと思います。

神谷（厚）副委員長 ありがとうございます。

あとは大丈夫でしょうか。御意見はいいですか。酒井委員、お願いします。

酒井委員 分別の前に、食事をして洗い物をしますよね。そのときに食器と一緒に洗ったらどうでしょうかね。それだと自然にきれいになって、それで分別ができるんじゃないかな。私はそう思うんですけども、いかがでしょうか。

北野委員 リレーカーニバルとか区民祭のときに、最後の回答をするときに、1対1のやりとりをやるんです。そのときに御意見が、えっ、カップヌードル洗うの、水のほうがもったいないよというような。きれいにするほど、そっちのほうの消費が大変で、もったいない、こういう意見がありました。確かに今の同時に洗うというのはすばらしいことだと思います。本当、水を出しかねる。結構言われましたよ。お年寄りから、もったいないと。

酒井委員 でも、もったいないというよりも、そんなにね。水は安いですから。一番安いのは水じゃないでしょうか。自然にそれが毎日の生活できれいになって出ていくのだと思うんです。

北野委員 そうですね。そのとおりだと思います。

酒井委員 そして各家庭でね。同じだと思うんです。1つ洗うのも2つ洗うのも同じですから、その時々洗ってしまえば、それできれいになって出ていくということですからね。

押山委員 要は多分に面倒くさいから、一般ごみとして捨ててしまえといった人がやっぱり結構いるんじゃないか。だから、その辺は、お願いするという視点がないと、知らんぷりする人はたくさんいるんじゃないかなと思います。

神谷（厚）副委員長 御意見はよろしいでしょうか。

それでは、いろんな意見が出ました。やっぱり面倒くさがる心というのも、そこは、私たち主婦は毎日そういうことをやっているの、時々そういう気持ちもちょっと出てくるというところもあるかと思うんですけども、それは啓発していかなければいけないことだと思います。

環境部会では、まだまだこれから出前講座が続いていきますので、これをずうっと続けていかなければいけないことなので、子どもたちのところから啓発していく。みんな、そういうふうにしていったほうがいいんだな、これは何で必要なのかなというところを考えていければいいなというところで、いい企画だったのではないかと思います。これからもまたいろいろ環境部会でそういう企画を続けていっていただきたいなと思っております。



(2)「高齢者のサポート体制と地域コミュニティ」の具体的検討について

神谷（厚）副委員長 それでは、次に安心・思いやり部会の経過報告といたしまして、戸張委員から、よろしくお願いいたします。

〔プロジェクター使用〕

戸張委員 それでは第5回全体会議、安心・思いやり部会の経過報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

フォーラムの開催と小冊子の作成を実施するに当たり、スケジュール等の面から、実現可能性の懸念があり、今後の実施内容や方針について話し合うため、部会有志による専門部会を7月に開催いたしました。

有志による専門部会では、各委員が忌憚のない意見交換を行いました。この専門部会での主な検討内容ですが、これまでは議論が中心になりがちだったため、動いていくことが大事、動きながら考えることが大事なので、シンポジウムに先立ちプレシンポジウムを行ってはどうか、今後の展開はプレシンポの企画、実行をしながら検討していくといった内容です。

次に、有志による専門部会の後に開催された計2回の専門部会の検討経過を発表させていただきます。専門部会は8月中に2回実施しました。

大きな項目の1つ目として、プレシンポジウムの実施の検討、具体的な内容についての説明をさせていただきます。部会では、主に①意見交換会の概要、②市の「ぼうさい出前講座」との連携、③関連諸団体等への協力要請・調整、④会場等の手配など諸準備の4項目について具体的な検討を行いました。

プレシンポジウムの対象は高齢者とし、2部構成で実施することにしました。前半の第1部では、議論の題材となるコンテンツとして川崎市危機管理室が実施しているぼうさい出前講座を実施し、後半の第2部では意見交換会を実施する予定です。

主に検討を行う4項目の1つ目である意見交換会の概要（テーマの設定など）ですが、各委員が作成した案を踏まえ、全体のテーマと意見交換会の中の細かいテーマの2つに分けて設定しました。全体のテーマは、「いざという時のために役に立つ地域における防災対策出前講座～お年寄りなどを見守り、ふれあいを通して地域の支え合い活動を活発化させるには～」としています。意見交換会のテーマは、「震災当日に「困った」こと」「震災当日に「助かった、安心した」こと」「地域で協力し合えること（共助）」「行政に望むこと（公助）」の4つとしました。

4項目の2つ目である市の「ぼうさい出前講座」との連携ですが、この講座は、川崎市危機管理室によるもので、市の職員または防災インストラクターを講師とし、防災の一般的な知識について説明を行うものです。プレシンポジウムの中でこの講座を実施することを検討しています。ただし、既存の講座は内容的に多いことなどから、プレシンポジウムの趣旨に合うよう、地域コミュニティーの支え合い、すなわち共助

などを中心とした内容に特化したいと考えております。担当課と調整を行っているところですので。

4項目の3つ目である関連諸団体等への協力要請・調整ですが、当日御参加いただける方を募集するに当たって、幸区老人クラブ連合会からの推薦委員を通じ、周知や参加をお願いすることとしています。想定する参加者は、老人クラブの会員の方などいこいの家に日ごろ集まる方々のほか、地域コミュニティーの観点から町内会・自治会の方にもお集まりいただけるよう調整を行っているところですので。

参加者募集の調整に当たり、区民会議でこちらに示すようなチラシを作成し、配布する予定です。

4項目の最後の項目である会場等の手配などの諸準備ですが、プレシンポジウムの会場は、南河原いこいの家の大広間で12月2日に実施できるよう調整を行っているところですので。

最後に、大きな項目の2つ目として、幸区民アンケートへの要望についての説明をさせていただきます。

幸区では、区民のニーズなどを把握するため、幸区民アンケートを実施しております。アンケートは複数の分野から構成されており、このうち安心・思いやり部会の関連する設問として、「高齢者支援について」「防災について」があります。安心・思いやり部会では、専門部会の中で、区が作成したアンケート項目の案に対し、より効果的な内容となるよう区民の視点からの要望を提示し、検討を行いました。

検討の結果を受け、アンケート項目がこちらに示すような内容に確定しました。

安心・思いやり部会の発表は以上です。御清聴ありがとうございました。

神谷（厚）副委員長 戸張委員、ありがとうございました。

これについてまだ何か補足するようなことはございますでしょうか。

松脇委員 このプレシンポジウムですけれども、第1回だけではなしに、地域でいろいろ差があるだろうから、とにかくこの第1回に南河原でやって、それを踏まえてほかの地域、マンションが多い地域だとかいろいろありますので、そういうところでもできたらいいなと思っているのと、シンポジウムをやるのが我々の最後の目的ではなくて、そこから出てきた困ったこと、いろいろ協力し合えることを何とか抽出して、将来につなげるような提言だとかそういうことができればいいかなと。

今回のプレシンポジウムは、川崎市も一緒ですし、もちろん幸区もそうですし、老人クラブとか町内会とか、非常に多くの方が参加していただけるので、幅広いいろんな意見とか注文が出ると思って期待しています。

神谷（厚）副委員長 ほかにはいかがでしょうか。

石原委員 私、環境部会の石原と申します。よろしく願いいたします。

今、いろいろと戸張委員からもお話をお伺いいたしまして、この冊子に書いてある

ものに目を通したんですが、先ほどもお話しありましたように、プレシンポジウムは南河原のほうで行うということですよ。高齢者というのは遠くに出るのが非常に大変だと思うので、私たちは日吉地区で、ちょっと橋を渡って行くのには、私たちでもここの区民会議に出るのも大変だと思って来ている状態ですので、できたら日吉は日吉地区でやっていただいたほうがよろしい。

これは1回だけではなくて何回も続くわけですよ。

土倉委員 そうです。

石原委員 それで、ちなみにうちのほうの老人会は、人数の関係上、老人会をちょっと脱退しまして独自にやっているんです。町会独自でやっておりますので、そういう方にもチラシを配布していただければ、町会としても参加できるようにしていただきたいなと思うんです。こういうことがあると言えば、老人会に入っていなくても参加して、防災に対して意識を高める。3月11日のあの震災、今でも続いておりますけれども、そういうことにならないために、皆さん共助をお互いにするということも大切なので、これは第1回だけのプレシンポジウムではなく、ずうっと継続するようにお願いできたらありがたいなと思って、一応そういう感想を持ちました。

以上です。

神谷（厚）副委員長 ありがとうございます。

先ほどの松脇委員のおっしゃったように、みんないろんな場所でいろんな問題点が、その場その場で違った問題点が出てくるので、やっぱりいろんなところでプレシンポジウムをやっていただければ、本当にありがたいことですよ。

土倉委員 場所によって要望事項も違ってくると思うんです。

神谷（厚）副委員長 そうですね。

土倉委員 先ほど松脇委員も言いましたけれども、場所によって、いわゆる困っていることだとか考えていること、みんな違ってくると思うんです。ですから、やはりいろいろなところで開催して、いろいろな意見を集約してからここで検討して、いい素案をつくりたいと思いますので、よろしくお願いします。

神谷（厚）副委員長 そうですね。本当に、このプレシンポジウムがまたもう1つの段階にというところがやっぱり大事なところだと思いますよね。

土倉委員 まず、1回目をやってみないと、どういうものになるかわかりません。

神谷（厚）副委員長 そうですね。どうでしょうか、そちらのほうの御意見は。

齋藤委員 町会ですとか老人会などいろいろなところでやっていくということなんですが、実は来月、川崎市のPTA連絡協議会でも全市の各会長さんとは限らないんですが、各区から代表の方が来まして、防災講座を行うことになっております。幸区では、これから人を集める場所なんですけど、せっかくなので幸区だけに限らず、いろいろな地域、いろいろな団体、町会、老人会はもちろんPTAですとか、いろいろな方

を集めて、それで意見を求めていったらどうなのかなと。幅広い世代の方の意見を聞いてみるのも非常によろしいのではないかなと思いました。

神谷（厚）副委員長 そうですね。ほかにはいかがでしょうか。

松脇委員 あと、これとは別なんですけれども、我々は夢見ヶ崎の魅力発信というもう1つのテーマがあって、まだ6カ月ありますので、一応プレシンポジウムの計画ができて、やれるようになったので、もう1つの柱である夢見ヶ崎の魅力発信をぜひ具体的にやっていきたい。ハードのほうは協議会もできていろいろ設備の改善とかができているようですけれども、やはり前回の区民会議で夢見ヶ崎の魅力発信で出したわけですから、我々もいいアイデアを出して、たくさんの方が楽しめるように、あと6カ月かけてそっこのほうも頑張っていきたいというのが、我々委員の間の今の考えです。

神谷（厚）副委員長 ほかにはどうでしょうか。よろしいですか。

それでは、まとめというところまでではないのでしょうかけれども、今回の南河原地区のプレシンポジウムが開催されるということで、意見交換会のテーマも4つに絞って、みんなでいろんな話をしようというねらいがいいところかなとも私も見て思ったんですけれども、前回の全体会から、この短い間に随分いい方向に進んできたなという気持ちもあります。この南河原地区のプレシンポジウムを行った後、また次の段階に行くというのも、皆さん大変ではあるかと思いますが、そのところも期待しておりますので、よろしく願いいたします。

あと、夢見ヶ崎のこと、それから、先ほどの環境部会で話は出ませんでしたけれども、自転車問題ですとかそういったところも長く続けていきたいと思いますので、間、間でいろんな意見を交換し合っていきたいなと思っておりますが、皆さんもその辺の御協力もよろしく願いしたいと思って、まとめということにさせていただきます。

それでは、参与の先生たちが見えていますので、お3人さんでちょっと寂しいですけれども、今回のことについて意見をお願いしたいのですけれども、済みません。よろしく願いします。

竹間参与 環境部会と安心・思いやり部会の皆さんがいろいろ議論されたことについては敬意を表させていただきたいと思っております。

震災を契機にいろんな動きが新たに始まっているということは感じているわけです。私も宮城県石巻と、月曜日、火曜日に、岩手県の陸前高田市にボランティアを兼ねて行ってきました。その地域ごとに同じような津波の被害ではあるんですけれども、石巻も、もう住めないんですが、家屋は残っているわけです。1階部分は全滅なんですけど、2階に住んでいる方もいるという状況だったんですけれども、陸前高田市のほうは、すべて流されてしまって何もなし。鉄道も壊されてしまって、駅舎も何もないという状況で、その地域によっても出てくる災害の実態が違ってくるのだという

のを改めて、2つ見に行って感じました。

ですから、実際にこの大都市の中で大きな災害に遭った場合にどういう事態になるのかということも、まだまだ想定することすら大変なことだと思うんですけども、そういうことも踏まえながら、いろんな準備を始めることは非常に大切なことだと思いますので、ぜひこれからも御活躍をしていただければと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

神谷（厚）副委員長 竹間先生、ありがとうございました。

山田参与 今のいろんな御報告を伺って、私も実はラップをプラスチックのごみのほうにずっと入れていたんです。これからは改めたいと思いますけれども。お子さんを通じてということの取り組みですけれども、できればお母さん方も一緒にということが、より効果的なのかなと思います。また、中学校になると、多分、なぜいけないんだというようなことも生徒さんから出てくるのではないかと思いますので、そんなことも御準備をしていただきたいなと思います。

それから、今、ミックスペーパーの全市展開があるんですが、やはり北部のほうは収集率が悪いというふうなことを伺っています。プラスチックごみの収集と一緒にやれば、もう少し意識が高まるのではないかと思いますので、ぜひ区民会議の取り組みが他の区のいい模範事例となるように、これからもお願いをしたいと思います。

それから、プレシンポジウムのほうですけれども、第1回目、どういう形になるかわかりませんが、どうしても、ちょっと行政の皆さんには申しわけないんですけども、いろんな防災機関をつくるときに専門家の立場でつくと完璧なような感じになるんですが、実際に一番立場の弱い人の意見がなかなか反映できないのかなと思いますので、ぜひ個人での意見というものも、これからの体制の中で生かしていただけるようお願いをしたいと思います。

神谷（厚）副委員長 山田先生、ありがとうございました。

では、田中先生のほうを先にさせてください。

田中参与 前回も私、参加をさせていただいたんですが、前は大分白熱した議論を皆さんされていて、ただ、前回のああいって白熱したものがあつたからこそ、今回出ているような具体的なものが上がってきているのかなと感じております。

環境部会の取り組みについては、もう既に走り出しておりますし、安心・思いやり部会においては12月に事業実施を控えているということでございますので。ただ、先ほど松脇委員がおっしゃっていたのが、やって終わりじゃないんだよ、やった後どういった御意見があつて、そういったものを抽出してまとめていくのか、そういったことをにらみながらなのだというお話もありました。まさにそのとおりだと思います。

例えば今度の老人いこいの家で開催されるシンポジウムについてなんですけれども、恐らく50人からの方の参加を募るということであれば、コーディネーターの方が

大分大変なのかなと思いつつも、ただ、経験豊かな皆様であれば、そのあたりはぼつちり取り組みもなされると思いますので、ぜひ大成功されることを私も祈念しております。

そのようなところで、一言とさせていただきます。どうもありがとうございます。

神谷（厚）副委員長 ありがとうございます。

ただいま市川先生に吉田先生……。

吉田参与 遅くなりまして、申しわけありません。

神谷（厚）副委員長 今回の会議の中での意見は、お聞きにならなくてあれでしたけれども、何か皆さんに一言でも御報告することとかありましたら、お願いします。

市川参与 どうも済みません、すごいタイミングで。遅参いたしましたして申しわけありません。

区民会議に前回私も出られなかったのですが、市議会議員時代からずっと参与として参加をさせていただきました。例えば去年などは、夢見ヶ崎に関して非常に貴重な御提言をいただいた中から今回の整備につながったということもあるんですが。せっかくこの区民会議があって、これだけ大勢の皆様方がお話をされて、非常にいい御提言とかがあるんですが、やっぱりある程度予算がつかないと、アウトプットというか、せっかくいい意見があったら実現したいとお思いになる。皆様も御一緒だと思うんですけども。私は今、県議の立場になってしまったんですが、市議の先生方には区への——特に区民会議などで話し合われた件は、区民の代表の皆様方が、区民の立場からこうしたものをぜひ実現してほしいというような思いを込めての御提言だと思いますので。私としては、今、地方分権でいろいろ権限移譲を市から区へとよく言われているんですが、この予算というものも含めて私たちも側面からバックアップして、せっかく話し合われたいい御提言がアウトプットとして、いい形で出るように応援させていただければと思っております。

吉田参与 私も遅くなりまして、申しわけございません。吉田でございます。

今、市川さんもお話しありましたけれども、区民会議という会議体の価値あるいは意味、活動内容が、私はこれからますます、市から区へという権限移譲、権限だけではなくて、さまざまな執行の内容についても、これからもっと大きくなっていく、本当にその先駆的というか、今のこの積み重ねが後々大きな大きな意味を持っていくと思いますので、この区民会議での活動、そして皆様からの御意見が活発に出る場を持っているんだということを私はもっと市のほうでもアピールして、予算なり権限なりというものを確保して、そして本当に、幸区に住んでいる区民の方々の生活を支える一つの会議体として機能していくように、自分でできることをやっていきたいなと今思っているところでございます。

神谷（厚）副委員長 参与の先生方、いろいろありがとうございました。

以上をもちまして、協議事項がすべて終わりました。

と思ったのですけれども、さっき予算というところで、区民会議で、もう皆さんにお知らせしてあると思いますけれども、こんな目立つジャンパーができています。この前の区民祭ですとかリレーカーニバル、それから今日の学校の出前講座で、これはすごく目立ちます。私も区民祭のあのすごい人数の中で、あっ、いるとすぐわかりますので、皆さんの分があるようなので、皆さんこれから何かのときにはぜひこれを利用して、いろいろなところで区民会議を広めていってほしいなと思っております。

石野委員 これは持って帰ったのかな。

神谷（厚）副委員長 これはまだ持ってっていない方もいますが、この前使ったときには持って帰っていらっしやると思います。

それでは、ちょっと脱線してしまいましたが、以上でございます。どうも済みません。それでは、事務局のほうにお返しします。

### 3 その他

司会 皆様お疲れさまでした。

では、その他ということで、事務局から2点ほどありますのでよろしくお願いたします。

事務局 企画課の加藤でございます。

私のほうからは、お手元に配ってございます両面印刷のものなんですけれども、平成23年度区民会議交流会の開催についての資料をごらんください。

こちらは7区の区民会議の委員の皆様の交流と意見交換を目的として開催するものがございます。昨年度、平成22年度になるのですけれども、3月の半ばに予定してございまして、御承知のとおり、震災がございました影響で中止となったものでございます。このたび、平成23年度で仕切り直しという形になるのですけれども、改めて開催するというところで今準備が進んでいるところでございます。

日程としましては、24年1月29日ということで、この日、ちょうど裏面にも書いてあるのですけれども、かわさき自治推進フォーラム2012というものが開催されまして、その中の一プログラムとして開催するという方向で現在検討が進んでございます。この中の3時35分から100分間、区民会議交流会を実施するというところで今調整が進んでいるところでございます。

今、各区で区民会議委員さん、3名の参加者の出席の推薦依頼が来てございます。昨年度の引き続きの内容ということになりまして、22年度と23年度の内容の比較があるのですけれども、こちらをお読みいただきますと、内容としてはほぼ同一になってございます。ちょっと違う点が時間です。去年については120分となっていたのですけれども、今年度につきましては、プログラムの一つになるということもございすの

で、100分程度となります。それに従いまして、意見交換のテーマにつきましても、22年度は2つ、1つは地域で果たす区民会議の役割について、もう1点は区民会議の提案が地域で広がるための方法について、こちらの2点についての意見交換ということになっていたのですけれども、この先、1つに絞って議論を進めていく形になっていく予定でございます。

本日お話ししたかったのは、3名の参加者ということでございますけれども、いかがでございましょう。もしよろしければ、22年度の引き続きという面もございまして、代表する委員長、副委員長のところから1名、各部会から1名ずつといった枠組みで昨年度はまず選ばせていただいたのですけれども、そういった形でよろしいでしょうか。

神谷（厚）副委員長 それでいいと思います。

事務局 ありがとうございます。

この中で、実は内々にスケジュールのほうを当たらせていただいて、西野委員長、土倉部会長につきましても御都合がつくということで内諾をいただいております。君和田部会長につきましても、ちょっと御都合の調整がつかないということもございまして、同じく石原副部会長につきましてもちょっと御都合がということがございました、調整がついていない状況なのですけれども、西野委員長と土倉部会長につきましてはお願いさせていただくという形でよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

事務局 ありがとうございます。

環境部会のほうにつきましても、環境部会のどなたかにお願いさせていただく、調整させていただくということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

事務局 ありがとうございます。

そうしましたら、そのような形で進めさせていただきまして、また、こちらのほうは細かいことが決まり次第、逐一お知らせさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

引き続き、もう1件、私のほうから、失礼させていただきます。

部数の都合上、申しわけございません。委員さんにしかお配りできていないんですけれども、こちらの少し分厚くとじられている冊子で、新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第2期実行計画実施結果について御意見を募集しますということで、私ども川崎市におきまして、基本計画の「川崎再生フロンティアプラン」に基づきまして、3カ年の実行計画を設定しまして、区別の事業を展開してございます。平成20年から22年度、昨年度までなんですけれども、この3年間で第2期の実行計画に当たりまして、昨年度までの3カ年に実施したものでございます。



その実施結果につきまして、現在、ホームページのほうでも公表してございますほか、区役所等でこういった冊子にまとめまして、閲覧という形でさせていただいております。こちらについてぜひ御意見を幅広くいただきたいと思っております。後ほどお読みいただきまして、また、ホームページにも記載がございますので、ごらんいただき、ぜひ御意見をお寄せいただければと思っております。よろしく願いいたします。

司会 ありがとうございます。

あと、私のほうからですけれども、本日の議事録につきましては、作成して全員に郵送いたしますので、御確認をお願いしたいと思います。

最後になりますけれども、今後のスケジュールでございますが、第6回の全体会議を年が明けた1月30日の月曜日か1月31日の火曜日、もしくは1月26日の木曜日の夜間の6時半から開催したいと考えております。

〔日程調整〕

司会 それでは、1月26日木曜日に第6回の全体会議を開催したいと思いますので、御協力のほどをよろしくお願いいたします。

閉会

司会 それでは、これをもちまして第5回幸区区民会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

午後7時33分 閉 会